

就農形態の違いについて



「就農」と一言と言っても、実際の形態にはいくつかの種類があり、それぞれメリットデメリットがあります。

このリーフレットでは、就農形態の違いについての代表例をご紹介します。

1 新規就農の2つの種類

サラリーマン経験がある人から多いお問い合わせは「法人就農（企業就農）」に関するもので、具体的には「農業法人」などの企業化した農家などに就職を検討しているという内容です。

この法人就農（企業就農）の対義語になるのは、自分で営農の全てを行う「独立自営就農」で、これは、自営業の社長になることと考えて問題ありません。

実際にご相談を受けると、法人(企業)を検討する最大の理由は「社会保障の有無」で、その次が「経営リスク」であると感じています。

2 独立自営就農と法人就農の違いについて

「独立自営就農」は文字どおり「独立した自営(フリー)」です。フリーの事業者になるので年金、保険、労災、健康管理、納税など、基本的に全てご自分で行うこととなります。当然、収入も自分の稼ぎがたよりになりますので、生産から販売まですべての経営リスクは自己責任になります。



もう一つの「法人就農」は「農業をやっている会社の社員になる」というものなので、就農と言うよりは就職です。メリットとしては社会保障費の半分は会社持ちになること、経営リスクを追わないで済むこと(合同会社除く)、デメリットは経営の自由度はまずないので、作りたい作物があり、いつかは独立自営就農をと目指す方にはやや遠回りな印象も受けます。

ただ、実際にはそれぞれに下表のようなものもあり幅があります。

パターン	組織	内容
部会等のサポート	大規模産地等	地域で重点的に取り組んでいる農業についてのフルサポートあり。ただし、生計は独立自営就農です。
のれん分け	大規模生産法人	当面、社員として就農し、その後ののれん分けなどで独立自営就農。品目・販売などはサポートがある。

3 独立自営就農の別の見方

これまで社会保障と経営リスクの面から説明しましたが、「夢」からは答えていません。

実際の新規就農の提案の中には、中山間地などの耕作放棄地や過疎の解消を目的に「農地+住宅+独立自営就農+サポート」をパッケージにして提案しているものもあります。

一見、大変そうな印象を受けますが、田舎暮らしが好きな方や、本気で有機農業を目指している方には良い点が多く、本気で「夢にチャレンジ」する時には重要な選択肢になると言えます。

裏につづく

4 北九州市ではどんな感じなの？

北九州市ではほぼすべてが独立自営就農です。

もちろん農業法人もありますが、社員が足りていて募集が無かったり、土を使わない農業なのでまいち新規就農という感じではなかったりで、新規就農の提案までにはなっていません。

北九州市で就農した方々の多くは、初めは地域で盛んな経営を覚え、少しずつ自分の好みの経営スタイルに変えていくようなパターンが多いという印象をうけています。



新規就農の相談は
こちらにどうぞ



北九州市内のご相談は

門司区・小倉北区・小倉南区の案件は

北九州市 東部農政事務所

北九州市小倉南区若園5-1-2 小倉南区役所 4F

☎ (093) 951-1020 FAX (093) 922-6403

若松区・八幡東区・八幡西区・戸畑区の案件は

北九州市 西部農政事務所

北九州市八幡西区光明1-9-22 折尾出張所 2F

☎ (093) 693-9912 FAX (093) 693-0675

北九州市・中間市・遠賀郡内の方は

福岡県 八幡農林事務所 北九州普及指導センター

北九州市八幡西区則松3-7-1 福岡県八幡総合庁舎 2F

☎ (093) 601-8855 FAX (093) 601-8869

福岡県域でのご相談は

福岡県農業会議

福岡市中央区天神4-10-12 JA福岡県会館

☎ (092) 711-5070

(財)福岡県農業振興推進機構

福岡市中央区天神4-10-12 JA福岡県会館

☎ (092) 716-8355